



はな咲くまちへ

World Rose Convention 2006 in OSAKA



# 世界バラ会議大阪大会

平成18年5月11日(木) — 17日(水)

会場: 花博記念公園鶴見緑地内・水の館ホール・大阪国際交流センター 他

# アジアで初めての世界バラ会議 2006年、大阪で開催

世界のバラを愛する人々が一堂に集います

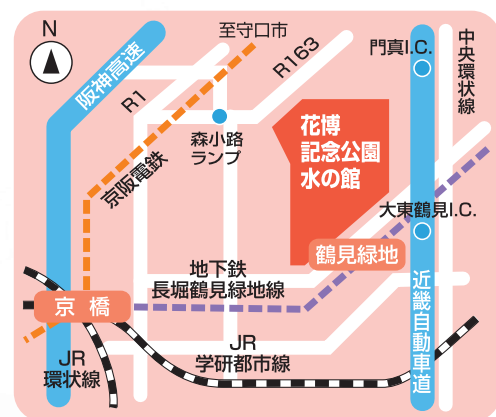
37カ国のバラ会が加盟する「世界バラ会連合」の承認のもと、3年に一度開催される世界大会。  
美しく咲き競うバラのコンテストをはじめ、日本独自のバラ文化や楽しみ方など、バラの魅力をたっぷりご紹介します。

華やかなバラとの素敵な出会い

## ばらフェスタ大阪

開催日：平成18年  
5月12日（金）、13日（土）、14日（日）  
10:00～17:00  
会場：花博記念公園鶴見緑地内  
水の館ホール ほか

入場料 当日500円〔前売400円〕  
（中学生以下、65才以上等無料）



日本の優秀なバラを競い合う

### ローズコンテスト

日本中のバラの秀花を集めたコンテストを行います。切り花や鉢植え、盛り花、アレンジメントなどのカテゴリーに分かれ競います。



日本の、世界のバラが融合する

### シンボル オブジェ

アジアで、初めて開催される大会にふさわしい、バラの魅力あふれるシンボル・オブジェを創り上げます。



日本独自のバラの楽しみ

### バラの盆栽・懸崖

日本独自の園芸芸術「バラ盆栽」の数々や、数メートルもの見事なバラの懸崖など、日本独特のバラの楽しさに触れていただきます。



いけばなの真髄を堪能

### バラで彩る いけばなの世界展

大阪府花道家協会に属する71の流派が勢揃い。バラを用いた様々な「いけばな」の華麗な饗宴をご覧ください。

バラの楽しみがいっぱい

### バラ色の暮らし展

日々の暮らしをバラで豊かに彩るアイデアあふれる企画展をお楽しみください。



日本の原種バラが咲き誇る

### 和風庭園

日本に自生するバラなど可憐なバラが咲き誇る和風ガーデン。バラに囲まれ、野点のお茶を楽しんでいただけます。

バラにまつわるアイテムが満載

### ローズカフェ & バザール

ローズガーデン風のカフェテリアや、バラの花をはじめ園芸用品から書籍、インテリア雑貨など、バラ好きの方には見逃せないバラ関連商品を展示・販売する「バラの市」。

コンベンションローズ

### 「ローズ・オオサカ」



「世界バラ会議大阪大会 2006」のシンボルとなるバラです。

花の特徴

ハイブリッド・ティー（HT）系（四季咲き大輪種）。花径は15cm、花弁の数は46～47枚。深みのある赤色、高芯剣弁の整った花形で、微香があります。

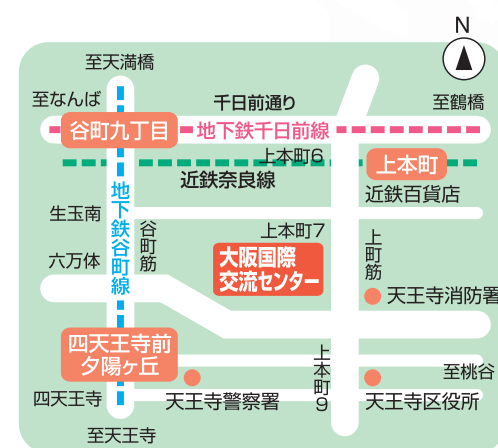
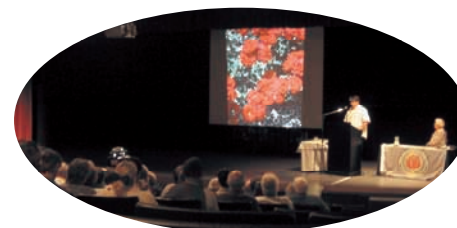
名称由来

名称は広く公募し、開催地「大阪」を表現した海外の方々にわかりやすい名称『ローズ・オオサカ』が選ばれました。

## バラの講演会

開催日：平成18年5月16日（火）  
14:00～16:00

会場：大阪国際交流センター大ホール  
世界バラ会議大阪大会開催を記念して行われる、バラの講演会。世界バラ会連合会長など海外から来られた講師による、貴重なお話を楽しんでいただけます。



※イベント内容は変更する場合があります。

## 大阪市内の おすすめバラ園



靉公園

噴水のあるお洒落なバラ園は、夜になるとライトアップされ、ロマンティックな表情も楽しめます。



花博記念公園鶴見緑地

ヨーロッパの香り漂うバラの遊歩道。「歴史」「フェスタ」「海」など5つのエリアに分かれています。



中之島公園

約4,000株のバラが咲き誇る都会のオアシス。モダンな煉瓦づくりの庭園です。



長居植物園

ヨーロッパ風のバラ花壇を再現し、華やかな色彩の変化がご覧いただけます。



天王寺公園

バラのアーチが全長100メートルにもわたって続き、甘い香りに包まれながらの散歩が楽しめます。

## 世界中の人々に愛される花 —— バラ



ボッティチェリ「ビーナスの誕生」■写真提供イタリア政府観光局 (E.N.I.T.)

### 歴史・芸術・文化のなかに、美しく咲き誇る。

古くから、美・愛・喜びの象徴として讃えられてきたバラ。容姿の美しさと甘い魅惑的な香りで、これまで多くの人々を魅了してきました。絶世の美女クレオパトラは、バラの花びらを浮かべたお風呂を楽しみ、愛する人を宮殿に迎えた際には床にバラの花びらを敷きつめて歓迎したといいます。ルネッサンスの巨匠ボッティチェリは、代表作『ビーナスの誕生』で、バラの花を降らせてビーナスの誕生を祝福しました。また紀元前600年ごろのギリシャの女流詩人サッフォーは、バラを「花の女王」と讃えたことはよく知られています。

バラは、現在までで2万品種以上生まれ、今なお世界中で毎年200を超える新品种が発表されています。この品種改良の進展に大きく貢献したといわれているのが、ナポレオン一世の妻、ジョセフィーヌ。バラをこよなく愛し、パリ郊外マルメゾン宮殿の庭園にヨーロッパ中のバラを収集。多くの園芸家を雇って品種改良に打ち込ませました。そのなかの一人、アンドレ・デュボンが世界で初めて人工授粉による品種改良に成功。花粉の運搬を昆虫に任せる時代に終止符を打ち、今日にいたる品種改良の基礎を築いたのです。こうして多くの人々に愛されたバラは、歴史のなかで数えきれないほどの物語をつむいできました。

### 世界的に有名な日本のバラ。

日本には、15種類の野バラ（原種バラ）が自生しています。8世紀に編まれた日本最古の歌集「万葉集」の一首には、「うまら」と詠まれたノイバラが登場し、「古今集」には「薔薇（さうび）」が詠まれた歌もあらわれます。

現在のように新しいバラを作り出したり、一般の人々に広く普及するようになったのは、欧米から新しいバラが輸入されるようになった1950年代ごろからのこと。

近頃では、日本の作家による新しい品種が、世界のコンテストで多数の賞を得るまでに至り、日本独自の伝統文化である“いけばな”や“盆栽”“懸崖”<sup>けんがい</sup>など、幅広い表現の場においてもその魅力を発揮しています。



テリハノイバラ



オオタカネイバラ



ヤマイバラ



ハマナシ



ノイバラ

ご存知でしたか？  
実はこれもバラです。

#### ●日本で作られたバラ●



天津乙女



つるみ90



藤娘



世界バラ会連合



財団法人 日本ばら会



大阪市



財団法人 大阪市公園協会

お問い合わせ

世界バラ会議大阪大会2006 実行組織事務局

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1-2-7-1206-2 (あべのメディックス12F) TEL.06-6631-8760 FAX.06-6631-8741  
http://www.worldrose-osaka2006.jp E-mail office@worldrose-osaka2006.jp